

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	遺伝性造血器疾患、原発性免疫不全症、先天性代謝性疾患の遺伝要因の研究		
2. 対象患者	以下の期間において本院で診療を受けられた遺伝性造血器疾患、原発性免疫不全症候群、先天性代謝異常の患者様		
3. 対象となる期間	2015年1月29日 ~ 2021年12月31日		
4. 実施診療科等	弘前大学小児科		
5. 研究責任者	氏名	伊藤 悦朗	所属 弘前大学小児科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	<p>本研究では、次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子解析により、遺伝性造血器疾患、原発性免疫不全症候群、先天性代謝異常の原因遺伝子を同定することを目的としています。</p> <p>本研究において遺伝性造血器疾患、原発性免疫不全症候群、先天性代謝異常の原因および病態を遺伝要因から明らかにするにより、よりよい治療法の開発および予後の改善につなげることができると考えられます。</p>		
8. 研究の目的	本研究の目的は、次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子解析により、遺伝性造血器疾患、原発性免疫不全症候群、先天性代謝異常の原因遺伝子を同定し、よりよい治療法の開発や予後の改善につなげることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	末梢血単核球からDNAを抽出し、次世代シーケンサーを用いて網羅的なターゲットシーケンスを行います。患者本人に病因と考えられる遺伝子変異がみつからなかった場合は、既に同意をいただき、研究に使用した末梢血の余剰検体を用いて、全エクソン解析、全ゲノム解析、RNA-シーケンスを行い、全ゲノムを対象にして疾患遺伝子の同定を進めます。なお、全ゲノムを対象にした網羅的遺伝子解析を行った結果、子孫に影響する偶発的所見が発見される場合があります。ご本人が希望される場合は結果をお知らせいたします。		
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名等を削除し、この研究のための識別符号を付与)されます。また、対応表については本院の研究責任者である弘前大学小児科学講座の関係者以外アクセスできないパソコンに保管・管理します。成果を発表する場合には、個人を特定できないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公に発表させていただきたいと思っております。		
11. 利益相反に関する状況	本研究の資金源は科学研究費および委任経理金です。起こり得る利害の衝突はありません。本課題と関連組織との関わりはありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部小児科学講座 教授 伊藤 悦朗		
	電話	0172-39-5070	FAX 0172-39-5017